

## 幸世を祈る聖木

上蔦木の三光寺の山門をくぐると、石だたみの左右に「ナツツバキ」が優しい姿でたっている。直径は20cmほど。滑らかな幹は、灰色がかった橙褐色。有る程度の大きさになると、樹皮がめくられて美しい模様となる。花期は、6〜7月初旬で、花の大きさは直径5cmほど。花びらは5枚で、雄しべの花糸は黄色い。純白の花は、朝に開花し夕方には落下する一日花である。

【樹木選定・評価 加々見一郎氏】



ナツツバキ【夏椿 学名:Stewartia pseudocamellia】ツバキ科ナツツバキ属の落葉高木。原産地は日本から朝鮮半島南部。仏教三聖木の一つとされる夏椿は、よく「沙羅双樹(しゃらそうじゆ)」と呼ばれ、釈迦入滅(亡くなったとき)の縁の聖木として、大切にされています。しかし「沙羅双樹」は、まったく別の熱帯樹のことで、日本の風土では育たないそうで、温室でよく見られます。

昔ある僧侶が、日本の夏椿が娑羅の木と似たように見えて、広まったとの説もあるようです。インド中部の各地の村祭りには、娘たちが娑羅の花を頭につけて将来の多幸を願うようです。日本では、「平家物語」の冒頭に出てくることでも有名です。



問 建設課都市計画管理係 026-2992116

### 富士見町民憲章

わたくしたちは、秀麗富士を望み、雄大な八ヶ岳と眺望豊かな入笠山にいだかれた高原の町、富士見町民です。この限りなく美しく、厳しい自然の中に住むわたくしたちは先人の心を受けつぎ、自然を愛し、豊かな調和のとれた田園の町の発展をめざして、この町民憲章をかかげます。

- 一 かけがえのない自然を守り、育てていく町民となろう。
- 一 心身を鍛え、明るく健康な町民となろう。
- 一 教養を高め、香り高い文化を創造する町民となろう。
- 一 仕事に誇りを持ち、産業の発展につくす町民となろう。
- 一 思いやりの輪をひろげ、住みよい郷土をつくる町民となろう。

### 告 白

「広報ふじみ」、町ホームページの「町民のページ」で有料広告を募集しています。詳しくは、<http://www.town.fujimi.lg.jp/index3.html>の「新着情報の一覧を見る」をご覧ください。

| 広告媒体             | 単位等                       | 広告料       |
|------------------|---------------------------|-----------|
| 広報ふじみ            | 下1段(縦50ミリメートル、横175ミリメートル) | 1回 5,000円 |
| 町のホームページ(町民のページ) | トップページ(縦60ピクセル、横150ピクセル)  | 月額 5,000円 |

- ◆町の人口と世帯数 平成25年7月1日現在(前月比)  
住民基本台帳人口 男性/7,484人(-3) 女性/7,779人(-8) 合計/15,263人(-11) 世帯/5,825世帯(+13)
- ◆発行日 平成25年8月1日
- ◆編集・発行 富士見町役場 総務課 〒399-0292 長野県諏訪郡富士見町落合10777 TEL0266-62-2250(代) FAX0266-62-4481
- ◆ホームページ <http://www.town.fujimi.lg.jp> Eメール [fujimi@town.fujimi.lg.jp](mailto:fujimi@town.fujimi.lg.jp) ◆印刷 (有)富士見印刷